

令和 7 年

第 6 回教育委員会会議録

(開会 令和 7 年 5 月 30 日)

(閉会 令和 7 年 5 月 30 日)

岐阜県可児市教育委員会

令和7年5月30日午前9時00分開会

会場：市役所4階第3会議室

出席委員

堀部好彦君（教育長）

梶田知靖君（教育委員）

長井知子君（教育委員）

伊藤小百合君（教育委員）

小栗照代君（教育委員）

説明のために出席した者

水野伸治君（事務局長）

木村正男君（学校教育課長）

奥田晋也君（学校教育課主任指導主事）

古野 寿君（学校教育課指導主事）

下園芳明君（教育総務課長）

後藤道広君（学校給食センター所長）

石黒智子君（教育研究所主任指導主事）

只腰知子君（学校教育課学校支援係長）

出席委員会事務局職員

木村雄大君（教育総務課総務係長）

伊藤師啓君（教育総務課総務係）

日程及び審議結果

1 開 会

2 前回、前々回会議録の承認

3 教育長報告

4 教育委員報告

5 議 事

①報告第10号 可児市教育委員会いじめ重大事態調査委員会委員の委嘱について

②議案第11号 教育に関する予算の意見について（令和7年度可児市一般会計補正
予算（第1号））

③議案第12号 可児市学校運営協議会委員の解嘱及び委嘱について

④議案第13号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について

6 各課所管事項

7 委員からの提案協議事項

8 その他

9 閉 会

開会の宣告

- 教育長（堀部好彦君） おはようございます。
これから令和7年第6回教育委員会会議を開催させていただきます。
定足数につきましては、出席委員が過半数を満たしておりますので、この会議は成立するということによりまして、よろしくお願いをします。

前回、前々回会議録の承認

- 教育長（堀部好彦君） 前々回、前回の会議録の承認について。
- 教育総務課長（下園芳明君） 前々回、前回の会議録に変更はございません。以上です。
- 教育長（堀部好彦君） 変更はなしということで、よろしくお願いをします。

教育長報告

- 教育長（堀部好彦君） 教育長報告でございます。
主に2つお願いをしたいと思います。
1つ目は、年度初め、岐阜県、東海北陸や全国の都市教育長会が行われまして、特に年に1回ということで東海北陸と全国は4月、5月に行われております。その教育長会で様々なことが話題になるわけですが、その中で、次の学習指導要領改訂に向けた話が少しずつ出てきています。まだ次の学習指導要領の方向が明確に示されているというわけではないと思うんですけれども、改訂に向けた議論が始まっているということをお知らせしたいと思います。
昨年12月に中央教育審議会の諮問を受けて、学習指導要領の改訂に向けた議論が始まったと認識していますが、検討においてどういう前提があるかということ、これからの社会を見通して教育はどうあるべきか、子供たちにとって重要なことは何なのか、さらには現行の学習指導要領の成果と課題は何なのか。これらを踏まえて、今後学習指導要領改訂に向けた議論が進められます。この1年、2年の市議会の動き、国の動きを注視していきたいと思っておりますとともに、私たちは今取り組んでいる「笑顔の“もと”」を育む教育、これを充実させていくことが次の学習指導要領につながっていくと思っておりますので、今私たちが大切にしていることを常に踏まえた議論をここでもやっていきたいと思っております。よろしくお願いをします。これが1点目でございます。
2点目は、お知らせといたしますが、こんなことがありましたということをご報告させていただきます。本日資料としてお配りしている資料なんですけれども、「ベビーブックの編集者 海老衣子」と書いてあるカラー刷りのコピーを御覧ください。
このコピーは、「可児市のじまんとほこり」の冊子の32ページに掲載されているものです。可児市の偉人のお一人ということなんです、この「可児市のじまんとほこり」、どんな思いで市長が作られたのかということを確認したいと思います。ふるさと教育の一環ということで、ふるさとの自慢、誇りを子供たちに感じてほしいという願いで、この冊子のはじめにというところ、これはお配りしておりませんので、また見ていただくとありがたいんですが、この冊子の巻頭言に市長がこのようなことを書いています。

また、可児市のよいところは、この本に載っていることだけではありません。これから皆さんにそういったものなどをたくさん見つけてもらい、できれば、これから可児市の主役になっていく皆さんが、新しい「可児市のじまんとほこり」をつくり出していてくれるとうれしく思います。

ふるさとを愛する気持ちとともに、可児市を背負って立つ人材育成を願ってのこの冊子だと私は捉えています。

この冊子に載っている偉人の一人、この海老衣子さんなんですが、どんな方かといいますと、ここに書いてございますように、可児市出身の一流雑誌編集者、そしてこの海老さんが考案した「ベビーブック」は、現在の母子健康手帳の基になったということで、このページの一番下に海老衣子が編集した「ベビーブック」とありますけれども、この原本が今m a n oのロビーに海老衣子コーナーということで、この方の業績とともに「ベビーブック」の実物が展示してあります。もしまだ見られてみえないということであれば、見ておいていただけるとありがたいです。

なぜこの方の紹介を今したかということでございますが、この4月、海老衣子の御親族の方から私に手紙がありました。教育長宛てに。

どんな手紙だったかということ、御親族のお母さんが、衣子の業績を可児市で語り継いでいってほしいという願いを持っておられたと。教育長、ぜひ教育の場で海老衣子の業績を伝え続けていってほしいですといった熱いお手紙でした。これはぜひ返事を書かなくてはいけないなと思いました。そういった一心で届けてくださったこの御親族の方にお伝えをしなければいけないと思いました。

それでお伝えをした返事が、これは私がその方に書いたお手紙です。あえてその方には、こんなふうを紹介をするよということはありませんので、承諾いただいておりませんので、お名前は伏せさせていただきますけれども、4つのことをお伝えしました。

1つ目は、m a n oという子育て支援の拠点となるところで業績がもう展示してありますということ。それから、m a n oの職員とそこでお話をして、海老衣子のことはm a n oの職員はみんな知っていて、それに引かれて頑張っていますよというようなこと。

それから、海老衣子さんの業績は可児市史だとか、久々利の村史でも紹介されていますということ。これがきっかけになって、私も実際に調べさせてもらいました。それをこの市史や村史のコピーと共にお伝えしました。

そして、この方は衣さん、衣、衣と書いてあったんだけど、可児市は「衣子」とあるので、これは何でだろうと思って、可児市が間違えておったら申し訳ないなと思って、これも調べたら、衣さんが雅号として「衣子」を名のっておられたということが分かって、そのこともお伝えをしました。それから、中日新聞で取り上げられたこともあったので、そのこともお伝えしました。

そして、最後にはこの「可児市のじまんとほこり」の冊子も添えて郵送させていただきました。つまり、もう既に衣子の業績は可児市がきちっと受け止めて教育にも役立っている、顕彰しているということをお伝えしたかったので、このようなお手紙を出させていただきました。

そうしたら、またお返事が来まして、大変ありがとうございますということとともに、

うれしかったんですけども、この方、私の手紙を仏壇で手を合わせながら、私のこの手紙を読み上げてくださったそうです。

ということで、大変私も手紙を書いてよかったと思っています。それとともに、改めて可児市のすばらしさを今回感じるとともに、市長が書いておられるように、可児市の主役になっていく子供たちを育てていきたいなという気持ちにもなりましたということで報告をさせていただきました。以上でございます。

教育委員報告

○ **教育長（堀部好彦君）** では、教育委員報告に入ります。

○ **教育委員（伊藤小百合君）** おはようございます。よろしく願いいたします。

4月22日に可茂地区市町村教育委員会連合会総会に出席しました。こちらでは、令和6年度の事業報告、決算報告、監査報告があり、令和7年度の事業計画、予算案などのお話がありました。今年の会長は美濃加茂市の教育委員の方で、副会長は3人ですが、可児市、私もそのうちの一人ということですので、よろしく願いいたします。

前年度と変わった点ということでお話がありまして、可茂地区市町村教育委員会連合会による視察ということで、西可児中学校が研究校になっているんですけども、今年6月25日に、各市町村からの研修派遣者の研修状況を知ったり、研修派遣者を激励したりするということを目的として視察をするということ新たに始めるということですので、今年が初めてになりますけれども、よろしく願いします。

次に、5月8日に可児市学校保健会の理事会に出席しました。こちら令和6年度と令和7年度の報告等がありまして、会費の値下げという話がありまして、こちらその点が変わっていました。

あと学校訪問なんですけれども、5月19日に西可児中学校と旭小学校、5月21日に瀬田幼稚園と兼山小学校を訪問いたしました。各学校それぞれ子供たちも元気で、先生方もすごく頑張ってみえました。西可児中学校がチーム担任制になって今年で3年目に入ったということで、創成期から成長期というお話がありました。今までももちろんいい部分と、やっぱりちょっと弱い点というか、見えてきた課題の部分をいろいろ学校でも話し合っ、子供たちにいい形でやっていきたいという話でありました。

ちょっと気になったことで、ネットのことで問題があったそうで、それに対して未然防止というか、指導はしているという話だったので、先生方もできる範囲で指導、少しでも予防できるように努力されているというのが伝わってきて、先生方も一生懸命やっていってくださるということを感じました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

今報告のありました研修校、西可児中学校に教育長が出向いて、派遣している職員と懇談をするという新たな取組のことなんですけれども、そもそも研修校の使命は2つございまして、1つは、学習指導要領を踏まえた新たな学習指導についての先進的な取組を試みて、それを広めていくという学習指導に関する取組が求められているということが1つ目。

2つ目は、人材育成です。今現状、今年度は西可児中学校に派遣されている地区の教員は4市町のように。可児市も含めて。ですので、その可児市も含めた4名の教育長

が今回西可児中学校に出向いて、自分の市町から出ている、自分の市町を勤務の本拠地としている教員と懇談をするということです。研修の状況を聞いたり、期待を語ったりということで、研修頑張ってくれよというお話をするという取組です。つまり、研修校の2つ目の目的の人材育成の観点から、この懇談が行われるということです。

それから、もう一つはチーム担任制のことで、成果と課題を踏まえてやっておられるというのは、私はさすがだなと思っています。3年目ですよ。どんな取組も、始まった当初というのは新たなことに取り組むという雰囲気、やる気がありますよね。ただ、それが1年、2年とやっていると、これはどんな取組もそうだと思いますが、形骸化していきます。これは宿命だと思っています。その形骸化を防ぐのは、当初の志に立ち戻るということがあるだろうし、成果と課題を常に見続けて、より高いレベルを目指していくということではないかと思っています。そういうことを踏まえた校長の取組ではないかと思って、お聞きしました。ありがとうございました。

○ **教育委員（梶田知靖君）** おはようございます。

私も、今月から学校訪問が始まりましたので、西可児中学校、旭小学校、瀬田幼稚園、兼山小学校を訪問しました。

西可児中学校では、校長からのお話で、教育総務課の施設対応が本当に早いということをおっしゃられておまして、本当に市外からいらっしゃった先生方も、教育総務課の対応に大変驚かれているというお話を聞かせていただきました。西可児中学校の駐車場に入る門扉の動きが悪いということをおっしゃっていたんですけども、それもすぐに対応してくださったということで本当に感謝していらっしゃいました。

それから、校長室の前に、先生方の誕生日だったり、好きな言葉が書いてある写真つきのものが掲示してあったんですけども、誕生日になると、子供たちが先生の前に行ってハッピーバースデーの歌を歌ってくれるというほほ笑ましいお話も聞かせていただきまして、大変喜ばしいことを聞かせていただきました。

それから、あと校内も回らせていただいた中で、今年度からiPadを使用しているということで、とても使いやすいということを先生方もおっしゃられておまして、iPadを使って勤務時間も大幅に短縮できているというお話も聞かせていただきました。

それから、瀬田幼稚園、こちらのほうは昨年10月以降、外国籍の子供たちが増えているというお話を園長から聞かせていただきました。外国籍の子供たちも、本当に多国籍で、宗教上の食事の配慮であったり、先生方も大変そういった辺りでは気を遣っていらっしゃるというお話を聞かせていただきました。

最後に、兼山小学校へ訪問させていただきまして、こちらは今年度から教育長と同じ志を持った中島校長がいらっしゃいますので。

○ **教育長（堀部好彦君）** そういうふうに捉えてくださったんですね。そうでしたか。

○ **教育委員（梶田知靖君）** 「笑顔の“もと”」についても本当に力強く語ってくださいまして、今後の兼山小学校、小規模特認校ということもありますけれども、本当に楽しみだと思い、お話を聞かせていただきました。以上になります。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

まず、教育総務課の施設改修等についての取組だとか、それから学校教育課のiPad等、教育現場からそういった教育委員会への信頼を寄せる言葉が聞かれるというのは

大変うれしいことで、教育総務課長も大変うれしいですね、こういう話は。

○ **教育総務課長（下園芳明君）** ありがとうございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** そうじゃない話をするのがたくさん、苦情やら何やらと聞くことが多いかもしれませんが、そういった声もあるということで本当にありがとうございます。

あと、瀬田幼稚園の件でございますが、幼稚園が抱える課題も小・中学校が抱える課題も、重なるところがいっぱいあると思います。外国籍児童への対応を言っておられたんですけれども、本当に小・中学校と同じだなということを思うし、また人材不足の点だとか、それから保護者対応、クレーム対応のことだとか、子育て支援のいろんな施策に対応せざるを得ない状況があるとか、全く小・中学校と同じ課題なんですね。

その中で奮闘されておられる園長はじめ、園の先生方と私たちの連携をさらに進めていきたいと今思っています。幼保小の連携の大切さをそういうところからも感じます。ありがとうございます。

○ **教育委員（小栗照代君）** おはようございます。

私も学校訪問で瀬田幼稚園と兼山小学校に行っていました。今、梶田委員からの御報告があって、重なるところもあるんですけれども、瀬田幼稚園には今外国籍のお子さんも増えてきたりとか、それから支援が要る、必要なお子さんも増えてきたということで、実際幼児が53名のうち半分近くがそういった方でいらっしやると。先生の数は、子供はだんだん減ってはきているんですけれども、先生の数はそのまま維持してくださっているのはありがたいんですけれども、その分やっぱり子供に手がかかるお子様が増えてきているのが大変だというお話がありました。

幼稚園に行ったときですけど、暑い日だったんですが、子供たちがまたいつものように外で遊んでいて、その姿を毎年見るのがとても楽しみでお伺いさせていただいているんですけれども、今回も外で元気よく遊んでいる姿を拝見させていただきました。ただ、全体を見ると、やっぱり毎年だんだん子供の数が減っているなというのを、数字でもお伺いしたんですけれども、見た目にもやはり減っているなというのを感しました。

それから、幼保小連携の関係ですけど、架け橋プログラムが終了したんですが、学校のほうとは密に連携を取っていきたいということで、例えば東明小学校さんとかから参観日見に来てというようなお声がけもあるとのことで、今後とも引き続きしっかりと連携を取っていきたいというお話をしてくださいました。

兼山小学校なんですけれども、校長、教頭、お二人とも今回4月から替わられたんですけれども、大変明るく笑顔でお迎えをしてくださいました。学校経営の目指す目標というものもしっかりと掲げていらっしやって、運営されているなというのを思いました。

それから、今年から複式学級になったんですけれども、三和小学校で御経験がおありなので、それを生かしながら今取り組んでいらっしやるといってお話もあつたんですが、地域の方々の御協力の違いであつたりとか、その状況の違いがあるので、なかなか三和小学校と同じようにはいかないですという御苦労の話もお伺いしました。

校長先生から素直な気持ちをいろいろとお伺いすることができました。例えば、その日ですと、私たちが見学させていただいたときは、みんなきちんと座って授業をしっかりと受けている状況だったんですけれども、平日はそうではなく、廊下へ出ていたりと

か、そういう子もいるんですというお話がありましたので、やはりお話をお伺いするということが大事ですし、私たちが見に行っただけでは分からないいろいろな御苦勞もあるんだなというのを思いました。

あと、東明小学校の4年生が田植をしていて、それを見学させていただきました。地域の方々の指導の下、子供たちが大変楽しそうに田植をしていたんですけども、そこでどうだったなんて話を子供たちに聞いたら、最初は足を入れたらぬるぬるして気持ち悪かった、でも楽しかったとかというのを。

- **教育長（堀部好彦君）** 田んぼは、どこの田んぼだったんですか。
- **教育委員（小栗照代君）** 東明小学校の東側の、グラウンドの東側の。
- **教育長（堀部好彦君）** そうですか。
- **教育委員（小栗照代君）** そうです。その他、ケーブルテレビ可児が来ていらっしゃるって、インタビューを何人かにしていたんですけど、私が声をかけた子もインタビューを受けていたんですけど、カメラを前にすると本当にみんな上手に。本当にびっくりしました。何の前触れもなくインタビューされていたんですけど、「足を入れたときには冷たかったですが、とても楽しくてまたしたいです」みたいな感じで、もっと上手にお話ししていたと思うんですけど、さすがだなと思って見学させていただきました。

これから秋に稲刈りをして、五平餅を作って食べるという話を子供たちから聞いたんですけども、お米の高騰であったりとか、今、社会的にお米が云々ということの問題になっているんですけども、お米作りをしっかりと学んでいただいて、作るのの大変さであったりとか、お米の大切さというものを実感できるといういい体験をさせていただいているなと思いました。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
委員の皆さん、学校訪問のことで情報をお知らせいただいているんですけども、小栗委員の報告も詳細ありがとうございます。そういった子供たちや先生方が頑張っておられるような様子をお聞きするとともに、校長とのやり取りの中で、校長が本音を語ってくださるような関係をつくってくださっていることについても大変ありがたいなと思います。

教育委員訪問なので、いいところを見せなくてはいけない。取り繕ったところのみを見せて、私たちが学校の姿を誤って捉えてはいけないなということを思いますので、どうしても化粧はしたくなると思います。これはね。なんだけれど、その中で、本当はねとか、こういうところばかりじゃなくてねとかというようにところが聞き出せる関係をつくってくださっていること、本当にありがとうございます。感謝申し上げます。これからもお願いをします。

- **教育委員（長井知子君）** おはようございます。よろしく申し上げます。
学校訪問について、4校お伺いしましたので、その話をさせていただこうと思います。まず西可児中学校ですが、毎年思うんですけども、管理職の先生方のチームワークがしっかりとできているので、何かトラブルがあっても、きつとうまく乗り越えていけるんだろうなという良い人間関係が築かれているとすごく感じました。チーム西可児というものがしっかりとできているという感じでした。

次に、瀬田幼稚園ですけれども、他の委員の皆さんが言われるように、昨年の秋から外国籍の子供たちが増えたということで、フレビアの方々がつなげているかなと感じていると言っておられました。

次に、兼山小学校です。皆さんが言われるように、校長先生にはとても御自身の強い思いがあったりだとか、頂いた資料にもどーんと一番最初に「笑顔の“もと”」を書かれていて、すごく思いの伝わる校長先生なので、これからしばらく務められると思いますが、すごく楽しみだなと思いました。

最後に旭小学校ですけれども、教頭がすごく一生懸命にお話ししてくださって、教頭先生にも、この会議でもお話ししたんですけれども、教師という仕事は、人を育てるという仕事はすごくやはり尊いなというのを感じました。教員不足でいろいろ話が出ていますけれども、若い子たちには、そういった人を育てるところの魅力だとかもまた伝わるといういなと改めて思いました。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** これも本当に感謝で、教育委員の訪問の中で、管理職が自分の教育観に関わるような話をされるというすてきな訪問だと思います。そういった関係をつくってくださっていること、本当にありがとうございます。感謝申し上げます。

僕も委員の皆様を期待していることの一番は、管理職とのよい関係をつくっていただきたいということですので、何とぞよろしく願いをします。ありがとうございます。

議事

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、議事に入ります。

- **事務局長（水野伸治君）** おはようございます。

それでは、議案書を御覧ください。

表紙の裏ページの目次のとおりです。本日は報告が1件、議案が3件でございます。

報告第10号 可児市教育委員会いじめ重大事態調査委員会委員の委嘱について、議案第11号 教育に関する予算の意見について（令和7年度可児市一般会計補正予算（第1号））、議案第12号 可児市学校運営協議会委員の解嘱及び委嘱について、議案第13号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、以上4件につきましてよろしく願いいたします。

- **教育長（堀部好彦君）** 本日議事の議案第11号 教育に関する予算の意見について（令和7年度可児市一般会計補正予算（第1号））、議案第13号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、及びその他の不登校児童生徒の状況及び児童生徒校内事故、問題行動、交通事故等の記録についてに関しては、意思形成に係る案件や個人情報、プライバシーに関する情報のため、教育委員会会議規則第14条の規定により非公開とすることにしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、これらの件については非公開とします。

それでは、報告第10号 可児市教育委員会いじめ重大事態調査委員会委員の委嘱についてを議題とします。

- **教育総務課長（下園芳明君）** では、お手元の議案書1ページを御覧ください。

報告第10号 可児市教育委員会いじめ重大事態調査委員会委員の委嘱について。

可児市教育委員会いじめ重大事態調査委員会委員の委嘱について、次のとおり専決処分したので、これを報告し、承認を求める。令和7年5月30日提出、可児市教育長 堀部好彦。

記、専決処分書。

可児市教育長に対する事務委任規則第4条第2項の規定により、次のとおり専決処分する。令和7年5月11日専決、可児市教育長 堀部好彦。

記、可児市教育委員会いじめ重大事態調査委員会委員を次のとおり委嘱する。

1. 名簿、次項のとおり。
2. 委嘱期間、令和7年5月11日から令和9年3月31日まで。
3. 委嘱理由、任期満了による。
4. 委嘱人数、3人。

委嘱の委員の名簿につきましては、めくっていただきました2ページにあります名簿のとおりでございます。今までお願いしていました委員の任期が令和7年3月31日まで満了となり、新たな委員を委嘱するものです。推薦団体との調整に時間がかかったことから、推薦をいただいた日に専決処分を行ったものです。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ただいまの事務局の説明について御質問、御意見等ありませんでしょうか。

〔挙手する者なし〕

この委員については、計4名を考えているんですけども、そのうちの3名が今報告されたということでございます。あと1名については選任中ということで、また後日報告等があるかと思っておりますので、よろしく申し上げます。

よろしかったでしょうか、ほかは。

〔挙手する者なし〕

では、特にないようですので、この件については原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、この件については原案のとおり承認します。

それでは、議案第12号 可児市学校運営協議会委員の解嘱及び委嘱についてを議題とします。

○ **学校教育課長（木村正男君）** では、議案書の4ページ、5ページを御覧ください。議案第12号 可児市学校運営協議会委員の解嘱及び委嘱について。

可児市学校運営協議会委員を次のとおり解嘱及び委嘱する。令和7年5月30日提出、可児市教育長 堀部好彦。

記、解嘱委員ですが、まず帷子小学校・広陵中学校からは3名の方になります。理由は書いてあるとおりです。旭小学校は1名解嘱となっております。もう一つ、兼山小学校も1名解嘱となっておりますので、御覧ください。

続きまして、委嘱委員ですが、帷子小学校・広陵中学校から2名の方になりますので、御覧ください。

5ページのほうに行きますが、同じく旭小学校からは1名、兼山小学校からも1名、

蘇南中学校からも1名委嘱するものです。御覧ください。

以上、よろしく願いいたします。

- **教育長（堀部好彦君）** ただいまの事務局の説明について御質問、御意見等ありませんでしょうか。

よろしかったですか。

〔挙手する者なし〕

特にないようですので、この件については原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、この件については原案のとおり可決します。

各課所管事項

- **教育長（堀部好彦君）** 続いて、各課所管事項です。
- **事務局長（水野伸治君）** それでは、私のほうからは市議会の令和7年度第2回定例会の日程について御案内をさせていただきたいと思います。

6月5日に議会のほうが開会いたしまして、一般質問が6月12日、13日、16日の3日間を予定しております。予算決算委員会が6月17日に予定されておまして、本日後ほど議案として御提示させていただきます補正予算案について御審議いただくような予定としております。6月20日に教育福祉委員会が予定されております。6月27日に閉会という形のスケジュールになっております。

一般質問など関係する事項につきましては、6月の会議で御報告をさせていただきたいと思います。よろしく願いします。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
- **教育総務課長（下園芳明君）** 先ほどの教育委員報告にもありましたが、私からは教育委員の学校訪問についてになります。

今月から皆さんにお願いしておるところでして、現在既に小学校2校、中学校1校、瀬田幼稚園を訪問しています。この後、6月に2日間、7月に3日間で残り13校の予定を組んでいますので、引き続きよろしく願いします。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
- **学校教育課長（木村正男君）** 前回の4月18日以降の様子についてお伝えをします。

今お話があったように、各学校を回っていただいていますので、お分かりかと思いますが、4月のスタート期間を過ぎて、ちょっと気にしていたゴールデンウィーク期間明けも、気にしてはありましたが、大きなことは聞いておりませんので、新しい学級に慣れて、落ち着いた生活でスタートしている様子かということを思っております。

5月からは、体育大会とか運動会といった、もちろん修学旅行、大きな行事を迎える学校があります。ざっと御紹介だけさせていただきますが、体育大会はもう既に終わっておる学校が多いですけれども、東可児中学校が14日に行いました。蘇南中学校、広陵中学校が22日に行っております。中部中学校、西可児中学校が23日に行いました。いずれも中学校はこれで終了、体育大会は終わっております。

運動会のほうです。小学校2校が終わる、もしくはやるんですね。31日土曜日、土田

小学校が予定しております。6月入ってすぐですが、5日に兼山小学校が運動会をやる予定でありますので、よろしくお願いたします。

なお、修学旅行につきましては、東可児中学校が5月28日から30日まで、中部中学校が6月ですが4日から6日まで、西可児中学校が19日から21日までという予定でありますので、まだのところは無事に行つてこられることを願つておるところです。

続きまして、プールについてです。

学校はみんな一斉に清掃を行つて、プール開きに向けて準備を進めているところです。先日新聞でも出ておりましたが、広見小学校は企業のボランティアも入り、掃除を参加していただいて、やっていたりするところもあります。プールの授業につきましては、様々な取組が始まっております。自校のプールで実施している学校は9校、自校ではない、ほかのところへ行つて授業を実施するところが7校と今なつてきておりますので、徐々にそういう移行も含んでいくということをお承知おきいただければと思つております。

続きまして、6月6日からは、学校経営指導管理訪問という可茂教育事務所と可児市教育委員会が連動して訪問して回ります。こちらは、新たに学校に赴任した教員の様子を見に行くことと、次年度もしかすると転出する予定をするかもしれない職員の様子について見て回るという訪問ですので、可茂教育事務所からは、所長をはじめ人事の関係の担当が回ります。可児市教育委員会からは、教育長をはじめ数名が回りますので、御承知おきください。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **教育研究所主任指導主事（石黒智子君）** 教育研究所よりを御覧ください。

私からは2点お伝えします。

1つ目です。

2ページ目に第1回の初任者研修の報告を掲載しております。写真やレポートで初任者の気持ちが表れている部分をお伝えしております。昨年度末に実施した初任者対象アンケートでは、可児市の同僚性の高さのおかげで、初任者の不安が軽減されたことが分かっております。本年度も27人の初任者が明るく元気に活躍できるように、研修やサポートをしてまいります。

2点目です。

2の(1)にありますように、3ページになります。各小学校において、幼保小連携協議会を計画しております。この会では、3ページ下の部分の表のように、接続期カリキュラムを編成しながら、子供の学びのつながりを大切にまいります。

続いて、4ページの3番、いのちの教育に関わつてです。

(1)の助産師さんによる講座においては、生命誕生とか、命のつながりという視点で今年度4校を計画しています。そのほかの学校は、生命の安全教育などの視点を持って授業を計画していきます。こういった授業から、今年度の可児市の方針と重点で大切にしている、自身の命を見詰め、自分を尊重するということにつなげていきたいと考えております。

私からは以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **学校給食センター所長（後藤道広君）** 給食センターにおきましては、毎月1回、給食用物資購入選定委員会を開催しています。委員の皆様には、給食センターの調理実習室にお越しただいて、肉とかの材料を煮立てていただいたり、焼き魚やフルーツ、デザートなどを試食していただいたりしながら、翌月の給食に使用するいろいろな材料物資を選定していただいています。

また、これも月1回ですけれども、献立作成委員会を開催しています。各学校の給食主任の先生方に委員となっていただいております、その月の給食を食べた子供たちの感想や、先生たちが気づいた点などを御報告していただいたり、翌々月の献立について御意見をいただきながら、栄養教諭等を中心によりよい献立づくりをと考えております。

ちなみに、今月の献立作成委員会におきましては、7月と8月の献立について協議いたしました。夏野菜を取り入れたり、食欲増進のため、カレーピラフや豚キムチ、学期末なので、人気の鶏肉の空揚げをと暑い夏でも楽しみになるようなメニューを計画しております。

どの先生からもいろいろな御意見をいただいております、スイカは楽しみだとか、ピーマンは苦手な子が多いので小さめにカットしてほしいとか、ズッキーニやトウガンなど、あまり家では食べられないような野菜もあって子供たちの反応が楽しみだとか、夏は塩分が大事なので、どの日にも汁物があるとよいなどの意見を頂戴しております。栄養士やその場に同席しております調理師にとって、大変モチベーションアップにつながる会議となっていると思います。

トピックとしまして、今月半ば頃に今渡北小学校の給食主任の先生から、支援学級の生徒が育てたタマネギを給食に使ってもらえないかという相談がございました。19日月曜日にタマネギの提供を受けまして、本日の給食なんですけれども、タマネギのみそ汁の材料として使わせていただいております。

以上、給食センターからの報告でした。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

今、各課からお話がありましたが、御質問、御意見ありますでしょうか。

〔挙手する者なし〕

今の学校給食センター所長のお話で、給食センターの職員と学校との交流が温かい雰囲気の中で行われているというのは大変ありがたいと思いますし、先ほど今渡北小学校のタマネギのお話を、私も給食センターに給食を呼ばれに行ったときに、学校のホームページも印刷して見せていただいて、そういった取組があるということをお聞きして、大変いいことだなと。それが本日の給食に提供されているということですね。特別支援学級の子たちの自己有用感ですね。自分で育てたタマネギが、市内の給食に振る舞われるというのは、これはすごい満足感じゃないかと思います。本当にありがとうございます。

それでは、ほかよろしかったでしょうか。

〔挙手する者なし〕

委員からの提案協議事項

○ **教育長（堀部好彦君）** では、そのほかに御質問もないようですので、次に教育委

員からの提案協議事項についてを議題とします。

何かございますでしょうか。

- **教育委員（長井知子君）** 提案とかではないんですけども、ちょっと勉強不足なもので教えていただきたいことがあるので、お聞きしてもよろしいでしょうか。

幼保小の連携で、今幼保と小学校の連携がうまくできているので、発達障害だとか、いろいろな特性を持った子の情報連携がスムーズにいけているということはお聞きしているんですけども、例えば小学校から中学校へのそういった情報伝達はどのようなのでしょうか。

- **学校教育課長（木村正男君）** 情報そのものということではいきますと、よく幼稚園、保育園も要録というのをつくっているの、そういう文書を各小学校に渡すということで情報交換しています。小学校や中学校も学習指導要録というのがありますので、要録を中学校に持っていくので、その情報は渡ります。

それ以外にも、小・中学校の連携という意味でいくと、中学校の先生が小学校に行つて、今度入学してくるかもしれない6年生の様子を2月、3月に見に行つて、ああ、こういう子どもたちが来るんですねと、その子どもたちを見た後に教員同士で、こういう子どもが行きますという情報交換をしたりしていますので、そういうことはしょっちゅうやり取りをしています。

- **教育委員（長井知子君）** 分かりました。

それで、もう一つまたお聞きしたいんですけど、小学校のときだと、交流といって支援学級の子が通常クラスに行ったりしますよね。中学校ではそういったことはないのでしょうか。

- **学校教育課長（木村正男君）** やっております。ただ、子供の実態にもよるので、小学校の頃よく行っていたのに比べると、学習の内容とか、集団にどういふふうになじむかということがあるので、その子その子に合わせた、行ける範囲の時間を行きましようということではやっていますので、みんな一定の時間行っているわけではないというのは御承知おきいただければと思います。

- **教育委員（長井知子君）** それは可児の中学校では、全部共通しているということでしょうか。

- **学校教育課長（木村正男君）** そうですね。特別支援学級の子はみんなそういうふうな、先生たちで、配慮の下で動いている。親御さんの理解をもらいながら動いていると思います。

- **教育委員（長井知子君）** そうなのですね。

なぜお聞きしたかという、ちょっと知り合いの方から声をかけられて、中学校に行ったら交流がないと。小学校のときは交流が行けていて、子供もすごく楽しみにしていたから、中学校に行っても行けるものだと思っていたんですけども、それが行けないから、すごい子供ががっかりしていると。どうなんですかと聞かれたので、私は分からなかったの、お答えはしていないんですけども、ということは、やっぱりその子の状況だとかによって交流に行けるかどうかは変わってくるということなんですかね。

- **学校教育課長（木村正男君）** 恐らく学校の中でも考えを持って動いていると思うんですけど、もしそういう疑問をお持ちでしたら、学校の担当の担任とかに聞いてみ

ていただいて、話し合っただけであればいいと思います。全くやっていないと言い切っているわけではないと思いますので。ただ、こういう理由があるから、こういうふうですよという説明があるかもしれませんが、学校ごとに動いておりますので、ぜひひそひそやってお伝えいただければと思います。

○ **教育委員（長井知子君）** 分かりました。ありがとうございました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

ほか、よろしかったですか。

○ **教育委員（梶田知靖君）** 提案事項というわけではないですけども、学校訪問で西可児中学校へ訪問したときに部活動のお話を少し聞かせていただいて、多分一昨年ぐらいに文化スポーツ課の担当職員から部活動の移行についていろいろ説明をしていただいたと思うんですが、来年度から実際に移行するというお話もお聞きしましたので、私の勉強不足かもしれませんが、もし今後の会議の話題の中に入っていれば全然問題ないですけど、また今後の部活動について、どこかのタイミングでまた教えていただけるとありがたいと思い、お話しさせていただきました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

進捗状況はその都度共有していくということで、時期を見て、また文化スポーツ課担当にお話をさせていただくということでどうでしょうか。

○ **学校教育課長（木村正男君）** 年に数回、文化スポーツ課と協議して連絡調整する会がありますので、その会にまた報告をさせていただければ思っています。

○ **教育長（堀部好彦君）** そうですね。ぜひよろしくお願ひします。ありがとうございます。

○ **教育委員（梶田知靖君）** ありがとうございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

ほか、よろしかったですか。

〔挙手する者なし〕

ありがとうございました。

その他

○ **教育長（堀部好彦君）** それでは、次にその他に行きます。

次回の日程等です。

○ **教育総務課長（下園芳明君）** 次回会議の日程についてですが、6月26日木曜日の午前9時からということでよろしくお願ひします。場所は市役所5階第2委員室です。

その次の7月の日程につきましては、また現在調整中ですので、よろしくお願ひします。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** よろしくお願ひをします。

それでは、このまま続けさせていただいてよろしいですか。

〔「はい」の声あり〕

ありがとうございます。

これより会議を非公開とします。

(以下非公開)

(以上非公開)

閉会の宣告

- **教育長（堀部好彦君）** では、以上で全て終わりましたので、これにて教育委員会会議を閉会します。ありがとうございました。

閉会 午前10時27分